

丹鶴叢書

草根集 四

和書門			
二九三六四	一〇八	二二	一五四
號	函	架	冊

內閣文庫		和書	
二九三六四	一〇八	二二	一五四
號	函	架	冊

內閣文庫	
番號	和 29364
冊數	154(59)
函號	216 2



A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

Kodak Gray Scale



© Kodak, 2007 TM: Kodak





草

根集第四

次身不同

丙一三六三

立

春書

花

或咲白く花の標のむらうあそそむひのふる日くら

暮

春 けつこふそふみかきつをむむとくまよまのゆのふ

早

春霞 きれぬ雲や天のかくふくまきほりけり衣がさるん

初

春山 ものゝとふのふいりいせし雲あふくははるのあみ

待

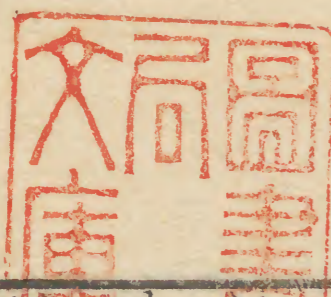
子日 きのをそくもみまふけりん心のあやましのあを

梅

薫風 なるそそのまのあふぬの梅のあふあふ神のあふ

鶯

知春 きのあふるはのさるるも氷のけりまををけりて



丹鳥書

霞

あけをきこえとてくはは海のあけをきこえとて
あけをきこえとてくはは海のあけをきこえとて
あけをきこえとてくはは海のあけをきこえとて

餘寒風

あけをきこえとてくはは海のあけをきこえとて

曉婦鳥

あけをきこえとてくはは海のあけをきこえとて

野若菜

あけをきこえとてくはは海のあけをきこえとて

柙

あけをきこえとてくはは海のあけをきこえとて

春曙

あけをきこえとてくはは海のあけをきこえとて

梅交松芳

あけをきこえとてくはは海のあけをきこえとて

曉梅

あけをきこえとてくはは海のあけをきこえとて

松間鶯

あけをきこえとてくはは海のあけをきこえとて

海上晚霞

あけをきこえとてくはは海のあけをきこえとて

梅交松

あけをきこえとてくはは海のあけをきこえとて

三春

あけをきこえとてくはは海のあけをきこえとて

霞

あけをきこえとてくはは海のあけをきこえとて

千鳥集

江上春月 玉の影よあはれと流るる花の月
 帰 鳥 天は尺木の衣をぬきかへし
 春風 吹くは春の心
 賭 射 なるは春の心
 牧 春 駒 走るは春の心
 若 菜 生るは春の心
 春 霞 霞は春の心

山 霞 霞は春の心
 緑 行 辨 春 行は春の心
 春 雨 降るは春の心
 春 曉 月 照るは春の心
 待 花 咲くは春の心
 梅 さくら 花は春の心

丹鳥書

侍山花

侍山花のついでに花をいふに花梅も山花のついでに

見初花

見初花のついでに花をいふに花梅も山花のついでに

初花

初花のついでに花をいふに花梅も山花のついでに

花

花のついでに花をいふに花梅も山花のついでに

山

山のついでに花をいふに花梅も山花のついでに

山花

山花のついでに花をいふに花梅も山花のついでに

山中花

山中花のついでに花をいふに花梅も山花のついでに

閑居花

閑居花のついでに花をいふに花梅も山花のついでに

閑居花

閑居花のついでに花をいふに花梅も山花のついでに

閑居花

閑居花のついでに花をいふに花梅も山花のついでに

閑居花

閑居花のついでに花をいふに花梅も山花のついでに

閑居花

閑居花のついでに花をいふに花梅も山花のついでに

花契春

花契春のついでに花をいふに花梅も山花のついでに

早春

早春のついでに花をいふに花梅も山花のついでに

早春

早春のついでに花をいふに花梅も山花のついでに

早春

早春のついでに花をいふに花梅も山花のついでに

早春山

早春山のついでに花をいふに花梅も山花のついでに

早春山

早春山のついでに花をいふに花梅も山花のついでに

霞中春雪

霞中春雪のついでに花をいふに花梅も山花のついでに

霞添春色

霞添春色のついでに花をいふに花梅も山花のついでに

海霞

海霞のついでに花をいふに花梅も山花のついでに

あまのほろろのささけはくさくさ
 浦風よSummer-Townに暮るる
 帰 鳥 燕 あまのほろろのささけはくさくさ
 風あらし弱きささけはくさくさ
 夕 鶯 あまのほろろのささけはくさくさ
 残 雪 あまのほろろのささけはくさくさ
 帰 鳥 あまのほろろのささけはくさくさ
 春 雪 あまのほろろのささけはくさくさ
 雪中梅 あまのほろろのささけはくさくさ

山寒花遅 梅さきも同くささけはくさくさ
 草漸青 あまのほろろのささけはくさくさ
 山路尋花 あまのほろろのささけはくさくさ
 松契多春 あまのほろろのささけはくさくさ
 山朝霞 あまのほろろのささけはくさくさ
 鶯 あまのほろろのささけはくさくさ
 朝 寫 あまのほろろのささけはくさくさ
 暮春鐘 あまのほろろのささけはくさくさ
 歎 あまのほろろのささけはくさくさ

子鳥 文書

山 霞のあはれは流し梅の實はしらむさしやまのめし
 山 霞のあはれは流し梅の實はしらむさしやまのめし
 立 春 天 神さや緑の葉ととの神となちんとのさしやまのめし
 初 春 天 月と白とめととのふとちり花とさしやまのめし
 江 上 霞 朝日とのあはれは流し梅の實はしらむさしやまのめし
 朝 若 草 けまのあはれは流し梅の實はしらむさしやまのめし
 夕 帰 雁 玉さやまのあはれは流し梅の實はしらむさしやまのめし
 山 霞 山霞のあはれは流し梅の實はしらむさしやまのめし

春 夕 花 きさめたるさしやまのめし
 春 曙 眺 望 天はよさしやまのめし
 野 外 春 風 夕とのあはれは流し梅の實はしらむさしやまのめし
 霞 添 春 光 色本 夕とのあはれは流し梅の實はしらむさしやまのめし
 霞 春 衣 さしやまのあはれは流し梅の實はしらむさしやまのめし
 江 上 霞 夕とのあはれは流し梅の實はしらむさしやまのめし

丹波集

白く雪のふりしつらき霞のつらき
 初風谷のゆるぎなき梅のつらき
 霞障遠樹 杜のつらき枝をこほりて
 まるの梢の風をこほりて
 早春風 ふるのつらき風をこほりて
 雨中紅梅 うらみのつらき花をこほりて
 澤若菜 里人やわづらひて
 河春月 川のつらき水に映りて
 園中櫻 園のつらき花をこほりて

海邊春夕 白くはれのぼる夕のぼる
 浦春曙 浦のつらき水に映りて
 春興 春のつらき花をこほりて
 立春 春のつらき花をこほりて
 山春曙 山のつらき花をこほりて
 喚子鳥 鳥のつらき音をこほりて

千鳥集

霞添山色

霞添山色 霞添山色 霞添山色 霞添山色 霞添山色

天長寺の霞添山色 霞添山色 霞添山色 霞添山色 霞添山色

躑躅

躑躅 躑躅 躑躅 躑躅 躑躅

春月

春月 春月 春月 春月 春月

春月の霞添山色 霞添山色 霞添山色 霞添山色 霞添山色

春月の霞添山色 霞添山色 霞添山色 霞添山色 霞添山色

孤島霞

孤島霞 孤島霞 孤島霞 孤島霞 孤島霞

畠邊雉

畠邊雉 畠邊雉 畠邊雉 畠邊雉 畠邊雉

野豆雉

野豆雉 野豆雉 野豆雉 野豆雉 野豆雉

春夕

春夕 春夕 春夕 春夕 春夕

早蕨

早蕨 早蕨 早蕨 早蕨 早蕨

落花

落花 落花 落花 落花 落花

栞も春の霞添山色 霞添山色 霞添山色 霞添山色 霞添山色

春夕の霞添山色 霞添山色 霞添山色 霞添山色 霞添山色

春夕鶯

春夕鶯 春夕鶯 春夕鶯 春夕鶯 春夕鶯

桃花

桃花 桃花 桃花 桃花 桃花

沢邊春駒

沢邊春駒 沢邊春駒 沢邊春駒 沢邊春駒 沢邊春駒

春駒

春駒 春駒 春駒 春駒 春駒

春動物

春動物 春動物 春動物 春動物 春動物

残春少

残春少 残春少 残春少 残春少 残春少

名所藤 言妙のをくよ月松の夜ゆへにの縁のつらきよの
 搞下藤 山はのつらきよのつらきよのつらきよのつらきよの
 路 藤 いそよつらきよのつらきよのつらきよのつらきよの
 藤埋松 風はをばりよのつらきよのつらきよのつらきよの
 霞 風はをばりよのつらきよのつらきよのつらきよのつらきよの
 尋 花 梅のつらきよのつらきよのつらきよのつらきよのつらきよの
 霞 梅のつらきよのつらきよのつらきよのつらきよのつらきよの
 夕春雨 花はらぬ夕のつらきよのつらきよのつらきよのつらきよの

いそよつらきよのつらきよのつらきよのつらきよのつらきよの
 梅交松 梅のつらきよのつらきよのつらきよのつらきよのつらきよの
 立 春 梅のつらきよのつらきよのつらきよのつらきよのつらきよの
 海邊霞 梅のつらきよのつらきよのつらきよのつらきよのつらきよの
 立 春 梅のつらきよのつらきよのつらきよのつらきよのつらきよの
 春 江 梅のつらきよのつらきよのつらきよのつらきよのつらきよの
 春 鳥 梅のつらきよのつらきよのつらきよのつらきよのつらきよの
 梅のつらきよのつらきよのつらきよのつらきよのつらきよの

丹鶴叢書

春虫

あはれあはれあはれあはれの春の虫かきつらう

春朝

あはれあはれあはれあはれの春の朝かきつらう

春天象

あはれあはれあはれあはれの春の象かきつらう

春

あはれあはれあはれあはれの春かきつらう

春植物

あはれあはれあはれあはれの春の植物かきつらう

花形見

あはれあはれあはれあはれの春の花形かきつらう

花下送日

あはれあはれあはれあはれの春の花下かきつらう

名所花

あはれあはれあはれあはれの春の名所花かきつらう

老栽花

あはれあはれあはれあはれの春の老栽花かきつらう

栽花

あはれあはれあはれあはれの春の栽花かきつらう

深夜花

あはれあはれあはれあはれの春の深夜花かきつらう

落花入簾

あはれあはれあはれあはれの春の落花入簾かきつらう

梅移水

あはれあはれあはれあはれの春の梅移水かきつらう

舟

あはれあはれあはれあはれの春の舟かきつらう

舟鳥

あはれあはれあはれあはれの春の舟鳥かきつらう

舟書

あはれあはれあはれあはれの春の舟書かきつらう

舟鳥書

あはれあはれあはれあはれの春の舟鳥書かきつらう

舟書

あはれあはれあはれあはれの春の舟書かきつらう

舟書

あはれあはれあはれあはれの春の舟書かきつらう

舟書

あはれあはれあはれあはれの春の舟書かきつらう

舟書

あはれあはれあはれあはれの春の舟書かきつらう

舟鳥書

梅の久芳 吟梅もねし井との影もくさるるは 春の影もくさるるは
 暮春藤 暮はのかりの影もくさるるは 春の影もくさるるは
 暮春橋 暮はのかりの影もくさるるは 春の影もくさるるは
 暮春江 日暮の本の影もくさるるは 春の影もくさるるは
 初春 暮はのかりの影もくさるるは 春の影もくさるるは
 湖邊霞 暮はのかりの影もくさるるは 春の影もくさるるは
 初春 暮はのかりの影もくさるるは 春の影もくさるるは
 鶯告春朝 暮はのかりの影もくさるるは 春の影もくさるるは
 梅發得客 暮はのかりの影もくさるるは 春の影もくさるるは

松色春文 暮はのかりの影もくさるるは 春の影もくさるるは
 柳辨春 暮はのかりの影もくさるるは 春の影もくさるるは
 春雪 暮はのかりの影もくさるるは 春の影もくさるるは
 瀧上櫻 暮はのかりの影もくさるるは 春の影もくさるるは
 山路春曙 暮はのかりの影もくさるるは 春の影もくさるるは
 岡春草 暮はのかりの影もくさるるは 春の影もくさるるは
 水御柳 暮はのかりの影もくさるるは 春の影もくさるるは
 柳小煙 暮はのかりの影もくさるるは 春の影もくさるるは
 水御柳 暮はのかりの影もくさるるは 春の影もくさるるは

千鶴集

山霞 霞のよきよき 霞のよきよき 霞のよきよき 霞のよきよき

遠村霞 霞のよきよき 霞のよきよき 霞のよきよき 霞のよきよき

三春 春のよきよき 春のよきよき 春のよきよき 春のよきよき

湖朝霞 霞のよきよき 霞のよきよき 霞のよきよき 霞のよきよき

山花未遍 花のよきよき 花のよきよき 花のよきよき 花のよきよき

関路花 花のよきよき 花のよきよき 花のよきよき 花のよきよき

見花 花のよきよき 花のよきよき 花のよきよき 花のよきよき

花のよきよき 花のよきよき 花のよきよき 花のよきよき

海帰鳥 鳥のよきよき 鳥のよきよき 鳥のよきよき 鳥のよきよき

湖帰鳥 鳥のよきよき 鳥のよきよき 鳥のよきよき 鳥のよきよき

遠村柳 柳のよきよき 柳のよきよき 柳のよきよき 柳のよきよき

柳垂絲 絲のよきよき 絲のよきよき 絲のよきよき 絲のよきよき

春山田 田のよきよき 田のよきよき 田のよきよき 田のよきよき

蛙聲出 蛙のよきよき 蛙のよきよき 蛙のよきよき 蛙のよきよき

夕蛙 蛙のよきよき 蛙のよきよき 蛙のよきよき 蛙のよきよき

山家春雉 雉のよきよき 雉のよきよき 雉のよきよき 雉のよきよき

丹鳥書

野外雉 鳴るはまのさきをけりてはうらやまのけしきほほしむ
 岡 雉 まるまのさきをけりてはうらやまのけしきほほしむ
 雉 まるまのさきをけりてはうらやまのけしきほほしむ
 苗代蛙 ぬすむはまのさきをけりてはうらやまのけしきほほしむ
 朝 堇 つむぎのさきをけりてはうらやまのけしきほほしむ
 春山松 しのぶのさきをけりてはうらやまのけしきほほしむ
 田家春雨 しのぶのさきをけりてはうらやまのけしきほほしむ
 朝山霞 しのぶのさきをけりてはうらやまのけしきほほしむ
 のちの日のまをけりてはうらやまのけしきほほしむ

夕雲雀 山のさきをけりてはうらやまのけしきほほしむ
 月前霞 しのぶのさきをけりてはうらやまのけしきほほしむ
 曉月春静 しのぶのさきをけりてはうらやまのけしきほほしむ
 谷 鳩 しのぶのさきをけりてはうらやまのけしきほほしむ
 帰雁成字 まるまのさきをけりてはうらやまのけしきほほしむ
 遠 鳩 しのぶのさきをけりてはうらやまのけしきほほしむ
 初春松 しのぶのさきをけりてはうらやまのけしきほほしむ
 霞春衣 まるまのさきをけりてはうらやまのけしきほほしむ
 まるまのさきをけりてはうらやまのけしきほほしむ



花初開 有花の下の花も日にあつては花の影もあつて
 夕山花 夕陽の影もあつては花の影もあつて
 山家花 山家の影もあつては花の影もあつて
 落花 落花の影もあつては花の影もあつて
 苗代 苗代の影もあつては花の影もあつて
 神楽 神楽の影もあつては花の影もあつて

野雲雀 野雲雀の影もあつては花の影もあつて
 野道雲雀 野道雲雀の影もあつては花の影もあつて
 橋花 橋花の影もあつては花の影もあつて
 月前花 月前花の影もあつては花の影もあつて
 終日對花 終日對花の影もあつては花の影もあつて
 三春 三春の影もあつては花の影もあつて
 閑路霞 閑路霞の影もあつては花の影もあつて

丹鳥集書

海路霞 ちかどくろくしゆく船のちのま玉もをえゆくかきむじり
 野外残雪 かきむじりの後を梅の枝のちのま玉もをえゆくかきむじり
 曙春雨 山風の松のまゆみはるる春のまゆみはるる
 浦春曙 ともろ火のまゆみはるる春のまゆみはるる
 春のまゆみはるる鳥のまゆみはるる春のまゆみはるる
 行路梅 神のまゆみはるる梅のまゆみはるる
 浦春月 もくほやく延ちのたつとまゆみはるる月と朝のまゆみはるる
 花春友 ちかどくろくしゆく花のまゆみはるる春のまゆみはるる
 庭上落花 梅のまゆみのまゆみはるる梅のまゆみのまゆみはるる

を一本

島花 ちかどくろくしゆく神のまゆみはるる神のまゆみはるる
 折花 ちかどくろくしゆく梅のまゆみはるる梅のまゆみはるる
 朝落花 ちかどくろくしゆく梅のまゆみはるる梅のまゆみはるる
 花隨風 山風の松のまゆみはるる山風の松のまゆみはるる
 山春月 ともろ火のまゆみはるるともろ火のまゆみはるる
 旅宿帰雁 ちかどくろくしゆく雁のまゆみはるる雁のまゆみはるる
 名取春曙 ともろ火のまゆみはるるともろ火のまゆみはるる
 古寺春雨 春のまゆみはるる春のまゆみはるる

丹鳥叢書

原雲雀 暮春の暮の芽原かきく 葉の肉ははくはくはく
 夕雲雀 夕暮に暮るる夕暮に暮るる 夕暮に暮るる 夕暮に暮るる
 澤春雉 暮るる暮るるをかくと 暮るる暮るる 暮るる暮るる
 樵路躑躅 暮るる暮るる入江の海に暮るる 暮るる暮るる 暮るる暮るる
 水辺躑躅 暮るる暮るる川に暮るる 暮るる暮るる 暮るる暮るる
 樹陰躑躅 暮るる暮るる樹陰に暮るる 暮るる暮るる 暮るる暮るる
 名所藤 暮るる暮るる名所の藤に暮るる 暮るる暮るる 暮るる暮るる
 松上藤 暮るる暮るる松上の藤に暮るる 暮るる暮るる 暮るる暮るる

古寺藤 寺の藤に暮るる 暮るる暮るる 暮るる暮るる
 池上藤 池上の藤に暮るる 暮るる暮るる 暮るる暮るる
 紫藤 藤の藤に暮るる 暮るる暮るる 暮るる暮るる
 款冬散 散の散に暮るる 暮るる暮るる 暮るる暮るる
 暮春雨 雨の雨に暮るる 暮るる暮るる 暮るる暮るる
 暮春雲 雲の雲に暮るる 暮るる暮るる 暮るる暮るる
 暮春曉月 月の月に暮るる 暮るる暮るる 暮るる暮るる
 立春氷 氷の氷に暮るる 暮るる暮るる 暮るる暮るる

千鳥叢書

三月盡 やまのいづれに月をみればさかすかのさかすかのさかすか
 春春雨 曇らふ雲の影の中はあはれなる月をみればさかすかのさかすか
 霞中月 ちかちかたる月の影の中はあはれなる月をみればさかすかのさかすか
 濱帰鳥 おもむくもさかすかの影の中はあはれなる月をみればさかすかのさかすか
 帰鳥出 ちかちかたる月の影の中はあはれなる月をみればさかすかのさかすか
 花 白 木のりよんをみればさかすかの影の中はあはれなる月をみればさかすかのさかすか
 翫 花 ちかちかたる月の影の中はあはれなる月をみればさかすかのさかすか
 松花 ちかちかたる月の影の中はあはれなる月をみればさかすかのさかすか

嶺上花 ちかちかたる月の影の中はあはれなる月をみればさかすかのさかすか
 花浮水 雨の日にちかちかたる月の影の中はあはれなる月をみればさかすかのさかすか
 遊 系 ちかちかたる月の影の中はあはれなる月をみればさかすかのさかすか
 春日遅 ちかちかたる月の影の中はあはれなる月をみればさかすかのさかすか
 湊帰雁 ちかちかたる月の影の中はあはれなる月をみればさかすかのさかすか
 帰雁漸稀 ちかちかたる月の影の中はあはれなる月をみればさかすかのさかすか
 杜間藤 ちかちかたる月の影の中はあはれなる月をみればさかすかのさかすか
 春春歎 ちかちかたる月の影の中はあはれなる月をみればさかすかのさかすか
 暮春歎 ちかちかたる月の影の中はあはれなる月をみればさかすかのさかすか

丹鳥叢書

三月盡朝 先をうよあまのぬくのものをとらふゆり
早春霞 去年の三月なぬ川にうかすかすの霞の
浦霞 むらぶのみのかたをうらぐあはれ漕ぎ舟の
落梅 ぬのゆい梅のむらぶをうらぐあはれ漕ぎ舟の
霞初暈 松人のほろをうらぐあはれ漕ぎ舟の
霞隔浦 山風もかきむすの文はまたもあつて
遠帰鳥 去年のうらむもあはれ漕ぎ舟の
梅遠薰 新なる梅の白ひをうらぐあはれ漕ぎ舟の
あはれ漕ぎ舟の梅の白ひをうらぐあはれ漕ぎ舟の

河岸柳 去年のうらむもあはれ漕ぎ舟の
草庵春雨 去年のうらむもあはれ漕ぎ舟の
椿景春久 去年のうらむもあはれ漕ぎ舟の
花霞 去年のうらむもあはれ漕ぎ舟の
古寺花 去年のうらむもあはれ漕ぎ舟の
花僅閑 去年のうらむもあはれ漕ぎ舟の
獨見花 去年のうらむもあはれ漕ぎ舟の
花如雪 去年のうらむもあはれ漕ぎ舟の
竹間花 去年のうらむもあはれ漕ぎ舟の
花下忘帰 去年のうらむもあはれ漕ぎ舟の

丹鳥叢書

磯花 夕花をよむはるの磯まづしづのねたの花をこる迄
 暮山花 夕根をよむはるの夕日か清く梅よしつゝのさのり
 雨後花 あらかきあめを梅の花のまはるは花も風やいそむ
 春日 花のよにせまうちあめをの日のまはるは花も風やいそむ
 惜婦雁 ちのるまうちつゝにせまうちあめをの日のまはるは花も風やいそむ
 田帰鳥 ぬくはるまうちつゝにせまうちあめをの日のまはるは花も風やいそむ
 初春霞 ちのるまうちつゝにせまうちあめをの日のまはるは花も風やいそむ
 霞 ^美 ちのるまうちつゝにせまうちあめをの日のまはるは花も風やいそむ
 霞障村 ^{満美一本} ちのるまうちつゝにせまうちあめをの日のまはるは花も風やいそむ
 曙花 ちのるまうちつゝにせまうちあめをの日のまはるは花も風やいそむ

春 曙 山風も花のまはるは花も風やいそむ
 雨後花 ちのるまうちつゝにせまうちあめをの日のまはるは花も風やいそむ
 花鏡 梅よしつゝのさのり
 山梨花 ちのるまうちつゝにせまうちあめをの日のまはるは花も風やいそむ
 春月出 ちのるまうちつゝにせまうちあめをの日のまはるは花も風やいそむ
 樵路早巖 ちのるまうちつゝにせまうちあめをの日のまはるは花も風やいそむ
 鞆旅暮春 ちのるまうちつゝにせまうちあめをの日のまはるは花も風やいそむ
 山家春残 ちのるまうちつゝにせまうちあめをの日のまはるは花も風やいそむ
 晚 ^霞 ちのるまうちつゝにせまうちあめをの日のまはるは花も風やいそむ
 松有佳色 ^{春美一本} ちのるまうちつゝにせまうちあめをの日のまはるは花も風やいそむ

丹雀集書

湊畔霞

あまのこゝろを霞の社のあまの江にからし舟のこゝろを

漸待花

まじりかゝるつたのら梅枝をさへむもりのしづ

杜根木花

はなちかひのこの花のまけ菜ゆめの中の枝の梅本

花浪

波の海をまの梅花も根をさへむはなを

花便

吹風をちかひにさへむもりのしづ

花浪

石まの浪をさへむもりのしづ

落花風

まじりかゝるつたのら梅枝をさへむもりのしづ

あまのこゝろを霞の社のあまの江にからし舟のこゝろを

まじりかゝるつたのら梅枝をさへむもりのしづ

曉帰鴈

あまのこゝろを霞の社のあまの江にからし舟のこゝろを

田若菜

あまのこゝろを霞の社のあまの江にからし舟のこゝろを

摘若菜

あまのこゝろを霞の社のあまの江にからし舟のこゝろを

早春朝

あまのこゝろを霞の社のあまの江にからし舟のこゝろを

曉霞

あまのこゝろを霞の社のあまの江にからし舟のこゝろを

花春友

あまのこゝろを霞の社のあまの江にからし舟のこゝろを

花未飽

あまのこゝろを霞の社のあまの江にからし舟のこゝろを

花半落

あまのこゝろを霞の社のあまの江にからし舟のこゝろを

山花隨風

あまのこゝろを霞の社のあまの江にからし舟のこゝろを

春陽已圃

あまのこゝろを霞の社のあまの江にからし舟のこゝろを

雪中早春

あまのこゝろを霞の社のあまの江にからし舟のこゝろを

丹雀齋書

霞遠山衣 かきまゝもたぬる霞の遠山衣の洗
 水御朝霞 水もたぬる霞の遠山衣の洗
 依梅侍人 神もたぬる霞の遠山衣の洗
 夜帰人 古もたぬる霞の遠山衣の洗
 花 見もたぬる霞の遠山衣の洗
 橋下花 花もたぬる霞の遠山衣の洗
 花添春月 花もたぬる霞の遠山衣の洗
 花 雪 花もたぬる霞の遠山衣の洗
 初春 花もたぬる霞の遠山衣の洗
 海路霞 花もたぬる霞の遠山衣の洗

遠山霞 花もたぬる霞の遠山衣の洗
 路梅 花もたぬる霞の遠山衣の洗
 春洞霞 花もたぬる霞の遠山衣の洗
 帰鳥遠 花もたぬる霞の遠山衣の洗
 花雲 花もたぬる霞の遠山衣の洗
 雨中落花 花もたぬる霞の遠山衣の洗
 深山花稀 花もたぬる霞の遠山衣の洗
 宗花歎 花もたぬる霞の遠山衣の洗
 独見春月 花もたぬる霞の遠山衣の洗

和歌集

初春霞 春の霞をよめる
 野雉 雉の原をよめる
 春月 春の月をよめる
 霞障行舟 舟の霞をよめる
 澤若菜 澤の若菜をよめる
 野宿梅 野の宿梅をよめる
 水邊藤 水邊の藤をよめる
 月前落花 月前の落花をよめる
 江上暮春 江上の暮春をよめる
 春のあけぼの

花如雪 花は雪に似たり
 三春 三春のあけぼの
 水郷若菜 水郷の若菜
 春月 春の月
 花下忘帰 花の下に忘れ去る
 数々露深 露は深く
 旅行花 旅行の花
 戶外春風 戶外の春風
 苗代蛙 苗代の蛙
 山寒花遅 山は寒く花は遅

丹鶴齋書

帰雁成字 ちりりあかきまはるの氷さの流る人清くさきひるの春
 花春友 ちりりあかきまはるの氷さの流る人清くさきひるの春
 喚子鳥 ちりりあかきまはるの氷さの流る人清くさきひるの春
 春湊月 ちりりあかきまはるの氷さの流る人清くさきひるの春
 尋花 ちりりあかきまはるの氷さの流る人清くさきひるの春
 花形見 ちりりあかきまはるの氷さの流る人清くさきひるの春
 名所数冬 ちりりあかきまはるの氷さの流る人清くさきひるの春
 田蛙 ちりりあかきまはるの氷さの流る人清くさきひるの春
 紫藤 ちりりあかきまはるの氷さの流る人清くさきひるの春
 春草短 ちりりあかきまはるの氷さの流る人清くさきひるの春

帰雁 ちりりあかきまはるの氷さの流る人清くさきひるの春
 林下 ちりりあかきまはるの氷さの流る人清くさきひるの春
 路早 ちりりあかきまはるの氷さの流る人清くさきひるの春
 遠山 ちりりあかきまはるの氷さの流る人清くさきひるの春
 早春霞 ちりりあかきまはるの氷さの流る人清くさきひるの春
 残春少 ちりりあかきまはるの氷さの流る人清くさきひるの春
 草漸音 ちりりあかきまはるの氷さの流る人清くさきひるの春
 濱春月 ちりりあかきまはるの氷さの流る人清くさきひるの春
 初春霞 ちりりあかきまはるの氷さの流る人清くさきひるの春
 霞春衣 ちりりあかきまはるの氷さの流る人清くさきひるの春

丹波書

苗代 ひたひた 草の 庭中の 苗代 ひたひた 草の 庭中の 苗代 ひたひた 草の
 花欲移 雨風 あまふり 草の 庭中の 苗代 ひたひた 草の 庭中の 苗代 ひたひた 草の
 憐霞 あはれ 草の 庭中の 苗代 ひたひた 草の 庭中の 苗代 ひたひた 草の
 三月二日 まひつ 草の 庭中の 苗代 ひたひた 草の 庭中の 苗代 ひたひた 草の
 折藤 おれ 草の 庭中の 苗代 ひたひた 草の 庭中の 苗代 ひたひた 草の
 春露 はる 草の 庭中の 苗代 ひたひた 草の 庭中の 苗代 ひたひた 草の
 春鷄 はる 草の 庭中の 苗代 ひたひた 草の 庭中の 苗代 ひたひた 草の
 簾外燕 すだま 草の 庭中の 苗代 ひたひた 草の 庭中の 苗代 ひたひた 草の
 歎冬 村 なげ 草の 庭中の 苗代 ひたひた 草の 庭中の 苗代 ひたひた 草の
 水邊藤 月 みづ 草の 庭中の 苗代 ひたひた 草の 庭中の 苗代 ひたひた 草の

暮春鐘 くらくら 草の 庭中の 苗代 ひたひた 草の 庭中の 苗代 ひたひた 草の
 曉霞 あけ 草の 庭中の 苗代 ひたひた 草の 庭中の 苗代 ひたひた 草の
 岡若菜 おか 草の 庭中の 苗代 ひたひた 草の 庭中の 苗代 ひたひた 草の
 子日松 こひ 草の 庭中の 苗代 ひたひた 草の 庭中の 苗代 ひたひた 草の
 船中暮春 ふね 草の 庭中の 苗代 ひたひた 草の 庭中の 苗代 ひたひた 草の
 蛙聲出 かえる 草の 庭中の 苗代 ひたひた 草の 庭中の 苗代 ひたひた 草の
 残雪 のこ 草の 庭中の 苗代 ひたひた 草の 庭中の 苗代 ひたひた 草の
 對花思昔 たい 草の 庭中の 苗代 ひたひた 草の 庭中の 苗代 ひたひた 草の
 春月出残 はる 草の 庭中の 苗代 ひたひた 草の 庭中の 苗代 ひたひた 草の

丹波集

野外春駒
 落花
 池上藤
 春天象
 花
 櫻

野の外の春駒
 花を散らす
 池の上の藤
 春の天象
 花
 櫻

惜花
 田若菜
 梅移袖
 五月雨暗
 行路夏草
 夏草滋
 五月蝉

惜花
 田若菜
 梅移袖
 五月雨暗
 行路夏草
 夏草滋
 五月蝉

夏部 次第不同

丹鳥書

螢 山屋のまじ 栲木の松川よおのまじもせりけり
 夕立雲 村夕立 まじおとあまのまじもせりけり
 浦夏月 涼つら月も涼しきまじもせりけり
 夏木雨 雨もまじもせりけり
 首夏衣 ともぬせの栲木もまじもせりけり
 夏 滝 石まじもせりけり
 盧橋風 涼風のまじもせりけり
 薄暮水雞 鳴のまじもせりけり
 首夏 夏人のお月の栲木のまじもせりけり
 五月雨 涼つら雨も涼しきまじもせりけり

夏 袴 七瀬のまじもせりけり
 夏 衣 ともぬせの栲木もまじもせりけり
 新 樹 涼風のまじもせりけり
 卯 花 涼つら花も涼しきまじもせりけり
 郭 公 涼つら公も涼しきまじもせりけり
 餘 花 涼つら花も涼しきまじもせりけり
 盧 橋 涼つら橋も涼しきまじもせりけり
 首 蒲 涼つら蒲も涼しきまじもせりけり
 夏 月 涼つら月も涼しきまじもせりけり

丹波書

鷓川 神楽もかきかしく
 照射 さくらんどのよのの
 夕氷鷄 さくらんどのよのの
 夜 螢 まるまるのよのの
 扇 なまらんのよのの
 池上蓮 さくらんどのよのの
 夕立 枝のよののよのの

氷室 山風のたもと涼し
 里 樗 咲むの枝もかきかしく
 垣 夕 貞 かきかしくの岸も
 杜 蟬 山風も涼しく
 納 涼 神楽もかきかしく
 樹陰夏風 百子の夜も夜に
 夏夜短 夜もかきかしく
 夏夜夢 夏の夢のよのの
 更衣 衣 ぬれぬれもかきかしく
 初郭公 初鳥かきかしく

丹鳥集

卯花
 早苗
 盧橋
 對橋同昔
 葵掛簾
 五月雨

卯花
 早苗
 盧橋
 對橋同昔
 葵掛簾
 五月雨

風前夏艸
 夏月
 鶉川
 曉更照射

風前夏艸
 夏月
 鶉川
 曉更照射

蚊遣火

かやたくるぬらさの烟をくはしむ神のつらさ

夏草

まきたく増えまきくほおのたのまきくほおく

隣瞿麦

けあひたさきとけくよまきくほおのたのまきくほおく

夕水雞

松風もきくくちのくくくくくくくくくくく

夕螢

ほくくくくくくくくくくくくくくくく

月扇

あきくくくくくくくくくくくくくくく

池上蓮

あきくくくくくくくくくくくくくくく

夕三

あきくくくくくくくくくくくくくくく

朝氷室

あきくくくくくくくくくくくくくくく

垣夕顔

あきくくくくくくくくくくくくくくく

山裏蟬声

あきくくくくくくくくくくくくくくく

山泉忘夏

あきくくくくくくくくくくくくくくく

千載集

深山泉 ながくは流るる水のけしきもあはれなるを
 納涼 ながくは流るる水のけしきもあはれなるを
 水邊納涼 一本 ながくは流るる水のけしきもあはれなるを
 松風近秋 一本 ながくは流るる水のけしきもあはれなるを
 首夏雨 神山やあ月のきしきもあはれなるを
 待郭公 ながくは流るる水のけしきもあはれなるを
 久待郭公 ながくは流るる水のけしきもあはれなるを
 聞時鳥 ながくは流るる水のけしきもあはれなるを

遠山新樹 ながくは流るる水のけしきもあはれなるを
 民戸早苗 ながくは流るる水のけしきもあはれなるを
 靈橋露 ながくは流るる水のけしきもあはれなるを
 靈橋風 ながくは流るる水のけしきもあはれなるを
 荇昔浦 ながくは流るる水のけしきもあはれなるを
 五月雨暗 ながくは流るる水のけしきもあはれなるを

河五月雨 ほとけ川をいそぐ水はあつた
 行路多草 けりし社もあまの社をさるる
 夏草深 けりし社もあまの社をさるる
 水上夏月 なま川がなまなまの月
 瀬鶉川 かの川をいそぐ水はあつた
 曉鶉川 かの川をいそぐ水はあつた
 照射 かの川をいそぐ水はあつた
 鶉川 かの川をいそぐ水はあつた

螢火透簾 夕やけの光もあつた
 街中扇風 風の音のあつた
 蓮 かの川をいそぐ水はあつた
 夕立 通夜の雨もあつた
 山 かの川をいそぐ水はあつた
 杜 標 かの川をいそぐ水はあつた
 疎屋夕顔 かの川をいそぐ水はあつた

名所氷室 しのきりぎりすのこころを
 林 杉の葉のまはりの三日月の影を
 瀧上 蝉 水のほとけの影を
 山 蝉 しのきりぎりすのこころを
 泉夏栖 しのきりぎりすのこころを
 夏沼菱 しのきりぎりすのこころを
 水邊納涼 しのきりぎりすのこころを
 家納涼 しのきりぎりすのこころを
 松風忘夏 しのきりぎりすのこころを
 行路夏衣 しのきりぎりすのこころを

夏 萩 しのきりぎりすのこころを
 和荒萩 しのきりぎりすのこころを
 夏 雲 しのきりぎりすのこころを
 夏 露 しのきりぎりすのこころを
 夏水風 しのきりぎりすのこころを
 夏樹鳥 しのきりぎりすのこころを
 夏山雪 しのきりぎりすのこころを
 夏夜侍風 しのきりぎりすのこころを
 夏 風 しのきりぎりすのこころを

丹後道書

夏 雲 白牡丹のたのしみは
 夏 雨 ふらふらと降る五月のあま
 夏 物 物と花と草のあはれ
 夏 河風 夫のこゝはあまを
 夏 駒 序牧もかきまわす
 夏 里竹 甲ふあせぬ竹の
 夏 鳥 友川のほろ
 夏 澤 夏はほろの
 首夏藤 友もも白
 路郊花 友もも白

郭 公 村の
 郭 公 遍 郭の
 新 樹 新の
 山田早苗 山田の
 橘薫枕 橘の
 沼草蒲 沼の
 山五月雨 山の

丹波叢書

夏草

めづる日も同じあまの衣はなほあはれぬ

湖上夏月

鳥のあはれはなほあはれぬ の菜 同上

鶺鴒川舟

かたがたの舟はなほあはれぬ

橋

あはれぬ橋はなほあはれぬ

夕立早過

なほあはれぬ夕立はなほあはれぬ

晚夏蟬

あはれぬ蟬はなほあはれぬ

郭公稀

あはれぬ郭公はなほあはれぬ

嶺上新樹

あはれぬ嶺上新樹はなほあはれぬ

濱五月雨

あはれぬ濱五月雨はなほあはれぬ

盧橋

あはれぬ盧橋はなほあはれぬ

夕立過山

あはれぬ夕立過山はなほあはれぬ

樹陰流水

あはれぬ樹陰流水はなほあはれぬ

六月秋

あはれぬ六月秋はなほあはれぬ

首夏 卯月の夕涼み
 水鶏 夕涼みの鳥
 夏萩 夕涼みの萩
 鶉川 川に鶉が飛ぶ
 夏月 夕涼みの月
 瞿麦露 夕涼みの露
 五月雨 夕涼みの雨
 江五月雨 夕涼みの雨

夏草 夕涼みの草
 夏鳥 夕涼みの鳥
 夏地儀 夕涼みの地
 夏雲 夕涼みの雲
 早苗 夕涼みの苗
 首夏山 夕涼みの山
 路郊花 夕涼みの花
 初郭公 夕涼みの公
 曳菅蒲 夕涼みの蒲

夏鳥 けり けり けり けり けり けり けり けり けり けり
 旅 夕 立 けり けり けり けり けり けり けり けり けり けり
 五月 蟬 さつ さつ さつ さつ さつ さつ さつ さつ さつ さつ
 民 阜 苗 さつ さつ さつ さつ さつ さつ さつ さつ さつ さつ
 家 納 涼 下 夜 の ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち
 照 射 お 暮 り 暮 り 暮 り 暮 り 暮 り 暮 り 暮 り 暮 り 暮 り
 池 蓮 さつ さつ さつ さつ さつ さつ さつ さつ さつ さつ
 暮 天 螢 飛 夕 暮 の けり けり けり けり けり けり けり けり
 旅 夕 立 甲 子 子 子 子 子 子 子 子 子 子
 夏 月 易 明 い けり けり けり けり けり けり けり けり けり けり

標 散 あ けり けり けり けり けり けり けり けり けり けり
 沢 夏 草 けり けり けり けり けり けり けり けり けり けり
 朝 瞿 麥 さつ さつ さつ さつ さつ さつ さつ さつ さつ さつ
 螢 似 玉 さつ さつ さつ さつ さつ さつ さつ さつ さつ さつ
 荷 露 成 珠 けり けり けり けり けり けり けり けり けり けり
 遠 村 郊 花 さつ さつ さつ さつ さつ さつ さつ さつ さつ さつ
 夏 木 さつ さつ さつ さつ さつ さつ さつ さつ さつ さつ
 家 蚊 遣 火 さつ さつ さつ さつ さつ さつ さつ さつ さつ さつ
 雨 中 螢 さつ さつ さつ さつ さつ さつ さつ さつ さつ さつ
 山 葵 あつ あつ あつ あつ あつ あつ あつ あつ あつ あつ

舟鳥集

五月雨 五月雨 五月雨 五月雨 五月雨
 五月雨 五月雨 五月雨 五月雨 五月雨
 夏月 夏月 夏月 夏月 夏月
 早苗 早苗 早苗 早苗 早苗
 田郭公 田郭公 田郭公 田郭公 田郭公
 池蓮 池蓮 池蓮 池蓮 池蓮
 氷雞 氷雞 氷雞 氷雞 氷雞
 前草蒲 前草蒲 前草蒲 前草蒲 前草蒲

遠夕立 遠夕立 遠夕立 遠夕立 遠夕立
 向泉日暮 向泉日暮 向泉日暮 向泉日暮 向泉日暮
 名所夏萩 名所夏萩 名所夏萩 名所夏萩 名所夏萩
 山 山 山 山 山
 泉夏栢 泉夏栢 泉夏栢 泉夏栢 泉夏栢
 如月郭公 如月郭公 如月郭公 如月郭公 如月郭公
 照 射 照 射 照 射
 蚊遣火 蚊遣火 蚊遣火 蚊遣火 蚊遣火
 瞿 麥 瞿 麥 瞿 麥 瞿 麥

丹鳥集書

丹雀書



四ノ四十三止

子

